

# 福井県大野市 関わり続ける定住のカタチの



- DATA**
- 主な連携先・メンバー  
福井県大野市結の故郷創生室・湧水対策室／関西大学地域再生センター
  - 活動地域  
福井県大野市
  - 活動期間  
2017年度～継続中
  - 活動資金  
大野市受託研究費 等

## 活動の目的

- 1 空き家を活用し、大学生が滞在・活動する拠点の整備及び住民との協働による拠点運営の検討
- 2 地域住民の意見収集及びまちづくり機運の醸成を目的としたワークショップ等の企画・実施
- 3 学生による大野市におけるサイクリングロードの企画・開発
- 4 大野盆地の地下水性状および部容量の定量的な把握



## 連携にいたる経緯

大野市は地下水が豊富で利用が盛んな地域として有名であり、市の活性化策の1つとして地下水の活用を企画している。岡田高大前市長から、地下水を含めた大野市の総合的な地域活性化策に関して本学に協力要請があり、環境都市工学部建築学科および都市システム工学科の教員4名が中心となってスタートさせた。

## 活動内容

福井県大野市は典型的な盆地地形を成しており、豊富な地下水に恵まれ、地下水の利用が盛んな地域である。大野市の中心には約400年前に築かれた大野城が位置しており、この城を中心とした城下町として発展した。しかし近年は日本の地方都市の共通の課題でもある、過疎化と高齢化が大野市でも進んでいるのが現状である。大野市は以前より、街の活性化策の1つとして、豊富な地下水に関連した様々な事業展開を図っている。本学は2017年から大野市からの委託を受け、大野市の地下水部容量の地下水収支の実態、過疎化対策の一環として空き家リノベーション、地域住民と本学学生との協働による拠点造りと運営、およびアンケート調査に基づいた地域住民のまちづくり機運の醸成を目的とした種々なイベント等の企画・実施、学生目線による大野市の魅力発掘等の活動を展開している。そして2018年6月に大野市と本学は包括連携協定を締結。また毎年3月には本学による住民参加の研究報告会を大野市において実施している。

## 活動の成果

- 1 地域愛着に繋がるお祭りやイベントの情報提供を通じた参加促進効果を明らかにした
- 2 本学が感じた大野の魅力を発信し、地域の方々に再認識していただいた
- 3 大野盆地の地下水賦存量を、重力探査等を適用し定量的に把握した
- 4 地域再編コミュニティ拠点環境の整備ができたこと (右ページ参照)

## 今後の課題・目標

- 1 祭りに関心を持たない市民層に、地域課題解決の糸口としての参加を促す方策を考えたい
- 2 大野の魅力を感じることのできるサイクリングロードなどを作成・発信したい
- 3 大野盆地における精緻な地下水利用実態と地下水供給を把握し、包括的な地下水収支実態の把握
- 4 地域再編コミュニティ拠点の持続的運営・機能 (右ページ参照)

## 教員紹介

■環境都市工学部 教授  
  
**楠見晴重**  
 Harushige Kusumi  
 専門は地盤工学。地盤に関する社会基盤施設の安全性に関わる問題、地下水利用および地盤・地下水汚染に関する問題等に関して、景観、環境に配慮した最先端学理・技術の研究を行っている。2020年度文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞。

■環境都市工学部 教授  
  
**北詰恵一**  
 Keiichi Kitazume  
 専門は社会資本計画、地域・都市計画、PPP/PIF。

■環境都市工学部 教授  
  
**江川直樹**  
 Naoki Egawa  
 (右ページ参照)

■環境都市工学部 教授  
  
**岡絵理子**  
 Eriko Oka  
 都市計画と住宅が専門。実際のまちの動きを、まちの人々とのかわりを通して学生たちに伝えたい、体感してほしいと思っている。

# 実践による「結の故郷」づくり

## 地域再編コミュニティ拠点—横町スタジオ



- DATA**
- 主な連携先・メンバー  
大野市／一般社団法人カンテ／大野市在住者
  - 活動地域  
福井県大野市大野地区周辺
  - 活動期間  
2017年度～継続中
  - 活動資金  
大野市受託研究費 等

## 活動の目的

- 1 本学が大野市に定期的に関わり続ける中で、地域資源に関する調査・分析の実施
- 2 学生と住民との交流の積み重ねを通じた活動の促進とまちづくり機運の醸成

## 連携にいたる経緯

2017年の大野市での空き家調査を経て、空き家となっていた川瀬ふとん店を、地域拠点「横町スタジオ」へとリノベーションする活動を開始。約一年後、関わり続ける定住のカタチの実践による「結の故郷」づくりに向けた基礎的研究に基づき、地域連携協定を締結した。

## 活動内容

本事業は、関西大学の学生が大野市に定期的に関わり続ける中で、地下水といった地域資源に関する調査・分析の実施と、大学生と住民との交流の積み重ねを通じた住民主体の活動の促進およびまちづくり機運の醸成を目指すものである。以上の実現を目指して、建築環境デザイン研究室では、

- ①空き家を活用した関わり続けるための滞在活動拠点「横町スタジオ」の開設
- ②「横町スタジオ」の空き家リノベーション活動
- ③横町スタジオを拠点に、関わり続ける定住のカタチの実践と地域交流の実践の3点を行っている。



## 活動の成果

- 1 横町スタジオの開設と運営によって、地域再編コミュニティ拠点環境ができたこと
- 2 横町スタジオを空き家活用の事例とし、街中の空き家リノベーション事業が地元学生・民間企業・大野市と協働することで実現できたこと

## 今後の課題・目標

- 1 横町スタジオが地域再編コミュニティ拠点として、持続的に運営機能ができるようになること
- 2 地元の課題発見・解決に向けた様々な主体をつなぐ地域コーディネートをすること
- 3 「それぞれが日常を楽しく生きる」という空き家活用に関する本質的な問いを、活動を通して様々な主体と共有すること

## 教員紹介

■環境都市工学部 教授  
  
**江川直樹**  
 Naoki Egawa  
 1951年三重県生まれ。74年早稲田大学理工学部建築学科卒、76年同大学大学院修士課程修了。77年(株)現代計画研究所入社、82年同大阪事務所を開設し、集住環境を中心とするデザインに取り組む。2004年に関西大学に教授として着任。多くの受賞歴がある中、2018年度には文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞した。

## 協働担当者紹介

■大野市 地域おこし協力隊  
  
**三浦 紋人**  
 Mondo Miura  
 1994年福岡県生まれ。関西大学環境都市工学部建築学科卒、同大学院修了。(建築環境デザイン研究室)  
 2017年より、福井県大野市にて、地域拠点横町スタジオのリノベーションをはじめとした地域再編プロジェクトに携わる。現在は大野市へ移住し、生活している。